

ベルフォーラム

Bell Forum

2009
AUTUMN

No.26

地域と職員と共に栄えるチーム



深秋の柳生の里

撮影：医学教育センター長 村田 雄二

●医療最前線：小児科の挑戦

●連載：登録医のご紹介

●TOPICS：第3回泉北がん医療ネットワーク研究会を開催
「今、周産期・母子医療を考える」セミナーを開催



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

小児科の挑戦



副院長兼部長

おおしま としお
大島 利夫

Profile

昭和54年 神戸大学 医学部卒業
// 大阪大学医学部附属病院 研修医
昭和55年 市立堺病院小児科 医員
平成62年 国家公務員等共済組合連合会大手前病院小児科 医員
平成 4年 ベルランド総合病院小児科 部長
平成13年 ベルランド総合病院 副院長（小児科部長兼務）
// ベルランド看護助産専門学校 学校長

資格

日本小児科学会専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（新生児専門医）
暫定指導医
日本感染症学会インфекションコントロールドクター（ICD）
大阪小児科学会運営委員
大阪小児科医学会理事
堺小児科医学会理事
大阪大学医学部臨床教授

ベルランド総合病院小児科は、新生児期から思春期に至るまでの幅広い疾患を扱い、小児の成長、発達を支える地域の中核的医療機関の役割を果たしています。

常勤小児科医は7人で、ベテラン、中堅、若手のバランスがとれた構成です。

<新生児医療>

新生児病棟は21床で、認可NICU9床とGCU12床で構成されています。救急時に対応するための大阪新生児医療相互援助システム（NMCS）に参加しており、日本周産期・新生児医学会専門医制度（周産期新生児専門医）の指定研修施設です。また、平成19年11月に大阪府地域周産期母子医療センターに認定されています。

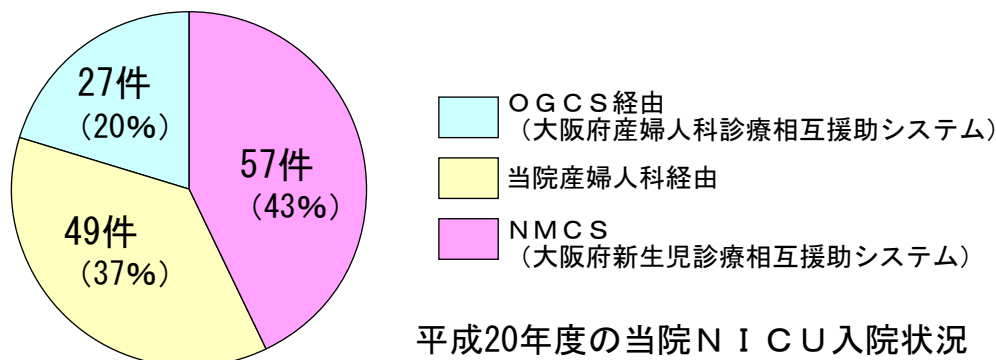
新生児医療の領域は、豊富な臨床経験を有する中内副部長が診療・指導の中心となり、在胎26週以上の早産児を含む内科疾患を受け入れています。また看護では、新生児集中ケア認定看護師である畠山主任を中心とするスタッフが、デベロップメンタルケア、ファミリーケアなどの先進的な取り組みを実践しています。

厚生労働省は、総合周産期母子センターの認定要件に「母体救命」を加え、周産期救急と救急医療の連携強化を求める方針です。当院においても、総合病院の周産期部門という特質を活かして、ハイリスク分娩、ハイリスク新生児に幅広く対応できる態勢を更に充実させます。



N I C U

また、昨年NICUへの新入院数は133例であり、うち人工換気を要した症例は34例でした。



<一般小児科・小児救急>

小児科外来は、午前は2～3診態勢で急性期を中心とした一般小児科診療を行い、クリニックからご紹介いただいた患者さんは待ち時間を極力少なくするよう、優先的に診察しています。午後の診察は、アレルギー、神経、消化器・内分泌、ワクチンの各専門外来、生後2週間健診、1ヶ月健診、新生児疾患のフォローアップ外来を行っています。また、急患や救急受診にも対応しており、クリニックからのご紹介にも随時お応えいたします。

一般小児科の入院病棟は、東3B病棟の16床で、繁忙期には隣接する東3A病棟の個室4床等も使用します。入院疾患は肺炎、気管支喘息、川崎病などのcommon diseaseが中心ですが、重症疾患や稀な症例も混在し、平成20年度入院患者数は640名でした。

看護スタッフは、平均在院日数の短い急性期小児看護の実践と平行して、プレパレーション（小児患者におけるインフォームド・コンセント）や在宅人工換気療法児のレスパイトケアにも取り組んでいます。また、病棟保育士1名を配置しており、入院患児だけでなく付き添いの母親の心理的ケアにも効果を挙げています。



保育士が週2回レクリエーションを行っています

<堺市医師会との連携>

一方、堺市医師会には、全国でも稀な小児科医会があり、間もなく設立40周年を迎えます。本会は、過去二百数十回に及ぶ定期学術集会と総会を開催した実績があります。このため開業医と病院勤務医の連携、協力態勢が非常に緊密であり、このことが全国的にも注目され、高い評価を得ている小児救急医療システムの構築に繋がったと考えます。

当院は二次後送を分担する5病院の一角を占め、毎週木曜日と第1・第5日曜日に二次後送当番を担当しています。新生児医療と一般小児科の両方を診られる小児科という当科のコンセプトが小児科志望の若い人達に評価されており、当院で小児科専門医研修（後期研修）を希望する初期臨床研修医や、初期臨床研修を受験する医学生が増えています。若くて元気な小児科医を増やし、連日二次後送を受けられるような態勢を整えたいと考えています。

今回は南区大森にて開業していらっしゃいます高橋院長をご紹介します。

診療科目：在宅医療・内科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	/	/	/	/	/	/
17:00～19:00	○	/	○	/	○	/



住所：堺市南区大森198-1 中井テナントビル1階
TEL：(072) 296-8045 FAX：(0721) 54-3736



たかはし てるたか
高橋 照孝 先生

Q1. 標榜科は何ですか？

Ans. 内科です。

Q2. 医師を目指した動機（きっかけ）は？

Ans. 元々は製薬メーカーで麻薬を扱った癌の疼痛の研究をしていました。しかし、実際の医療現場とはかけ離れており、患者さんへ直接役に立ちたいと思ったのがきっかけです。

Q3. 診察する際に心掛けている事は何ですか？

Ans. 医師と患者さんの間に垣根を設けない同じ視点での診療を行うこと。あくまでも利用者が主体で、医師が従の関係を心掛けております。

Q4. 地域医療について

Ans. 在宅医療が地域密着と考えています。そのために患者さんの言いたいこと、生の意見に傾聴することが大事で、最前線で患者さんの意思を汲み取り、病院では見えない細かいところまでフォローし、フィードバックさせること。私はそういった地域医療に反映させるパイプ役だと思っています。

Q5. 当院への希望・要望

Ans. 今まで診察、入院など良くしてもらっています。これからもいっそうの地域医療に取り組みされることを期待します。

Q6. 最後に一言お願いします

Ans. 取り立てて変わったことをしてきたことはありませんが、あくまで医療は患者さんがあってこそその関係だと思っています。医療について患者さんの考え方、背景を汲み取って沿えるような在宅医療を目指したいと考えています。そのためには病院や行政の力も必要だと感じています。これからも自身が出来ることを確実にこなしていきたいと思います。

第570回大阪外科集談会を開催して



外科
部長 藤尾 長久

7月25日(土)、大阪大学中之島センターにおいて「第570回大阪外科集談会」を当番施設として開催いたしました。本会は、若手外科医(研修医を含む)の登竜門として歴史ある会です。



和田範子医師

演題は、一般演題9題、教育セミナー2題でしたが、前半は当院の内視鏡外科福長洋介部長の座長で、後半は小生の座長で行いました。一般演題では、関西医大から発表された「小腸内視鏡点墨後に腹腔鏡補助下に切除したコレステリン塞栓による多発小腸狭窄の1例」が稀な症例であり、なおかつ小腸内視鏡で診断し、腹腔鏡下に切除している点で興味ある演題でした。当院からは、和田範子医師が「直腸悪性黒色腫の1例」を発表しました。

また、教育セミナーでは、当院の川崎誠康副部長が「米国に学ぶ創傷ケアの実際」を、同じく出村公一医長が「進行再発胃癌に対する術前化学療法後拡大郭清」を講演しました。今回、開業医の先生方も参加、聴講され、夕方まで熱いディスカッションが交わされました。



川崎誠康副部長

新規

登録医のご紹介

平成21年11月1日現在 登録医総数 **247件**

地区名		医療機関名	院長名
和泉市	池田下町	南川循環器科	みなみかわ ひろし 南川 博司
北区	百舌鳥赤畑町	佐々木内科クリニック	ささき のりひさ 佐々木 徳久
南区	高倉台	酒井歯科医院	さかい まさみち 酒井 正道

(敬称略)

第3回泉北がん医療ネットワーク研究会

内視鏡外科
部長 福長 洋介



9月12日、リーガロイヤルホテル堺におきまして『第3回泉北がん医療ネットワーク研究会』を開催しました。第1回『緩和ケア』、第2回『乳がん』に続き、今回は『大腸がん』をテーマに取り上げさせていただきました。

まず第一部では、現在の大腸がん治療のトピックスをその道のエキスパートに講演していただき、当院薬剤部の星育子主任にも薬剤部の大腸がん治療とのかかわりを

講演してもらいました。消化器内科領域で最も活躍されている神戸大学光学医療診療部の豊永高史准教授から、ごく早期の大腸がんに対する内視鏡的治療の適応、手技についての講演があり、続いて大腸がんの外科治療として最近注目されている腹腔鏡下手術の現状について、小生が講演いたしました。

その後大阪府立成人病センター消化器外科の大植雅之副部長から、直腸がん治療に対する拡大手術の現状と今後の戦略に関して、ご講演をいただきました。



(写真左端から) 豊永准教授、福長部長、大植副部長、星主任



東京医科歯科大学腫瘍外科分野教授 杉原 健一先生

さらに、同演者でのパネルディスカッション（当院亀山院長の司会）では、大腸癌治療を受けた患者さんのフォローアップについていかに地域と連携して診ていくかなど、限られた時間でしたが活発な討論となりました。

第2部の特別講演では、『大腸癌肝転移の新しい治療戦略：日本と欧米の違い』と題して、日本消化器外科学会理事長・大腸癌研究会会長である東京医科歯科大学腫瘍外科分野の杉原健一教授にご講演を頂きました。日本の大腸癌治療成績が欧米と比較しても非常に良好であり、さらに肝転移に関する最新の治療戦略についてご教示

いただきました。

医師79名、看護師55名、薬剤師45名を含む249名（院外146名、院内103名）と、非常に多くの方々が増加され、大腸癌の最新治療に対する興味と地域連携に関する関心の高さを実感いたしました。



(写真左端から) 市立堺病院 古河院長、杉原教授、滋賀医科大学 谷教授、亀山院長

今、周産期・母子医療 を考える



東2病棟
科長補佐 東川 明子

8月8日(土)、リーガロイヤルホテル堺におきまして「今、周産期・母子医療を考える」というテーマで周産期セミナーを開催いたしました。会場には、周産期関連の医療従事者を中心に、院外・院内から100名以上の参加がありました。

まず、「日本とアメリカにおける周産期事情」について、生長会周産期医療研究所・医学教育センター長の村田雄二所長が講演致しました。日本の国民皆保険制度とアメリカ医療保険制度の違い、その中での周産期医療を具体的に知ることができました。



周産期医療研究所長 村田 雄二

また、特別講演は、宮崎大学医学部生殖発達医学講座産婦人科学分野教授の池ノ上克先生をお迎えし、「地域に貢献する周産期医療を目指して」というテーマでご講演いただきました。宮崎県内では、周産期医療の役割分担が明確になっており、すべての妊婦さんたちが安心して出産に臨める環境にあります。が、「地域の開業医の先生方と何度も勉強会や会議を経て、現在のシステムができた。」とお話しされていました。わたしたちも同じ目標をもち、地域の周産期に携わる医療従事者がタッグを組んで、「妊婦さんたちに安心できる周産期医療を提供していくため、ベルランド総合病院も地域周産期母子医療センターとしての役割を發揮しなければ」という思いを新たにしました。



宮崎大学医学部生殖発達医学講座
産婦人科学分野教授 池ノ上 克先生



(写真左端から) 大島副院長(小児科)、村田所長、池ノ上教授、清水副院長(周産期センター長)、大阪産婦人科医会高木会長、生長会田口理事長

体験談

西第5病棟 看護師 友田 新二

私は、偶然にも海で溺水状態の傷病者に遭遇し、救命処置を行い無事生還できた体験をしました。

発見した時は、うつ伏せで浮かんでいる状態。すぐさま仰向けにし岸まで引っ張り、その場で心肺蘇生を開始しました。5分ほどで循環が戻りましたが、口や鼻などからは多量の海水が泡状に吹き出ていました。たまたま居合わせた消防・救命士10人ぐらいが駆けつけ、救急車に同伴し病院へと搬送しました。



その後、“その方は、意識が回復し脳障害もなく、現在リハビリ中である”と海上保安庁から連絡がありました。自分は、何かあった時に頼りになる存在になりたいと思い、救急看護に没頭し、色々な勉強会などに参加してきました。また、このような体験を通じ、自分自身にも自信がついたとともに、更にこの道を深めたいと日々看護の実践や勉強にと頑張っています。

(なお、第5管区海上保安本部長より感謝状が授与されました)



落合 希淑

(株)ドリームアフタードリーム 代表取締役
よみうり文化センター ガーデニング・ハーブ講座講師
堺美術協会会員

花には、見るだけでホットさせてくれる力があります。小さな芽吹きに感動し、植物がすくすくと元気に育ってくれると気持ちが良い、きれいに咲くと嬉しくなり幸せを感じます。一本の植物が一人の人間を元気にするように、ガーデニングを楽しむことは、まわりの人々に笑顔の輪をひろげます。

私は、7年前にベルランド総合病院で、乳がんによる右乳房全摘出手術を受けました。思うように右手が使えず辛い思いをした時、植物が育つ様子を見ながら水やりをし、土に触れたりすると心が和んだものです。



現在ベルランド総合病院内に咲いている花は、患者様相談室の職員様、花の好きなボランティアと一緒に育てています。これからも、花の咲くこの場所が「患者様の心が和む空間」になるよう、心をこめて育ててまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

患者さまの
心が和む
空間作り



感染管理認定看護師

外科病棟 主任

太田 真希



認定看護師制度とは

認定看護師制度は、日本看護協会が「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いた看護実践のできる認定看護師を社会に送り出し、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的とした資格です。

感染管理認定看護師とは

感染管理認定看護師の主な役割は、

- ① 医療関連感染サーベイランスの実践
- ② 職業感染管理
- ③ 感染に関する教育指導
- ④ 他部門からの要望管理対策相談に関する助言

特にサーベイランスは、病院内で効果的な感染管理を実施するための解析材料となりますので、重要な活動となります。

現在、感染管理認定看護師は、国内で96名が認定されています。

当院での

感染管理認定看護師

としての活動

当院は、地域支援病院として急性期医療を担っており、月間手術件数は約370件、そのうち消化器外科手術が4分の1を占めています。

消化管手術は、手術部位感染(Surgical Site Infection: SSI)を起すリスクが最も高いため、SSIサーベイランスを2008年7月から取り組みました。外科医師をはじめ、手術室・病棟看護師の協力もあつて精度の高いサーベイランスになりました。さらに、術中操作の対策を見直し、新対策を導入できました。今後の課題は、他科でのSSI、血流感染サーベイランスに取り組んでいきたいと考えております。

また、患者様の感染防止だけでなく、職業感染防止のためにも針刺し・切創・体液曝露サーベイランスも行っていく必要があると考えています。

さらに、感染対策チーム(Infection Control Team: ICT)にも参加しており、ICTでの主な活動は、週に一度会議を開き、新型インフルエンザ対策、ワクチンプログラムに取り組んでおります。



地域の看護師対象に感染について講演



ICTラウンドを毎週木曜日におこなっています

～大阪狭山市・和泉市・高石市～

近場で味わえるロールケーキ

いまやどのケーキ店にも鎮座するほどのブームとなっている『ロールケーキ』ですが、各店舗のこだわりや特徴も多種多様です。その中でも近場で味わうことが出来て、ここはおすすめ!と独断で選出したロールケーキをご紹介します。



医療福祉相談室
主任 森本 智子

大阪狭山市代表

『香翔』の狭山池ロール&なたまめ茶ロール

『狭山池ロール』は、生地に米粉を使用しスポンジがもっちり〜! 黒豆入りの生クリームは、和風テイストな個性派ロールケーキ。『なたまめ茶ロール』はその名の如く、なたまめ茶が使用され、鹿の子小豆入りの生クリームとの相性が絶品! 健康志向の方にはオススメの一品です。



狭山池ロール



なたまめ茶ロール

香翔

住所:大阪狭山市茱萸木1丁目2702-3 TEL:0120-072-319
営業時間:AM8:30~PM8:30(年中無休)
ホームページ: <http://www.saraju.co.jp>
価格:狭山池ロール945円 なたまめ茶ロール880円

和泉市代表

『Haricot Rouse(アリコロージュ)』のアリコロール

『アリコロール』のこだわりは厳選素材にあり! こだわりの卵を使用したスポンジはしっとり&もっちり。生クリームは、牛乳の濃厚な味わいが特徴的。地元にとどまらない高い知名度とリピーターが多いことにも頷ける一品です。

ありこるーじゅ

住所:和泉市箕形町3丁目9番7号 TEL:0725-53-3233
営業時間:AM9:30~17:00
ケーキが無くなり次第閉店(水曜日定休)
ホームページ <http://www.rollcake.net>
価格:650円



高石市代表

『銀装フロリードハウス店』の秋山ロール

『秋山ロール』は、蜂蜜の香りのしっとりしたスポンジに牛乳の風味がしっかりと生クリームがたっぷり入っています。生クリーム好きの人にはたまりません! ちなみに秋山ロールは銀装フロリードハウス店のみの販売で〜す。

銀装フロリードハウス店

住所:高石市羽衣5-15-13 TEL:072-265-0021
営業時間:AM9:30~PM6:00(年中無休)
ホームページ <http://www.ginso.co.jp>
価格:1.050円



注:ご紹介する店舗共通して言えるのが本数限定で販売されています。確実に入手するためにも『事前予約』をして下さいね。

交通のご案内

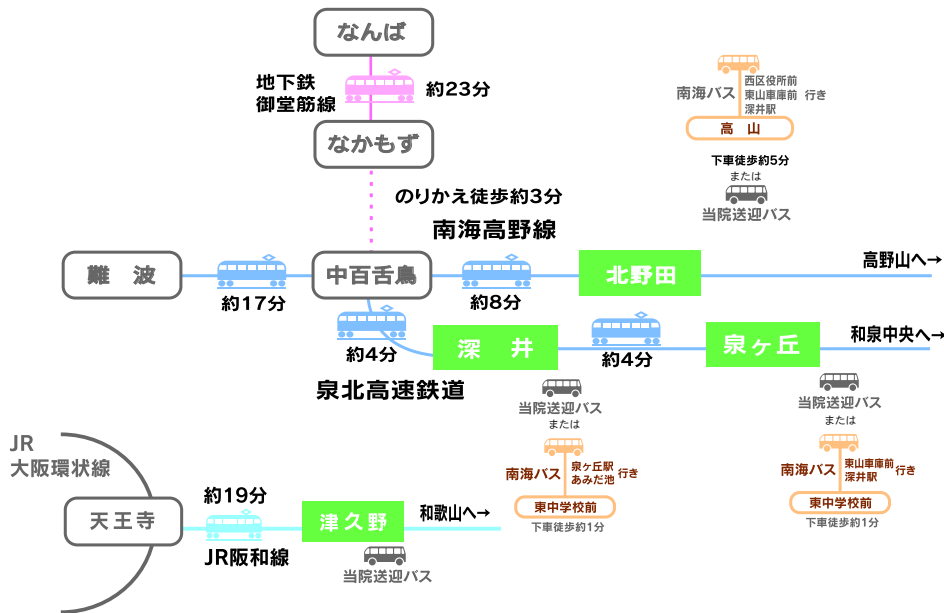
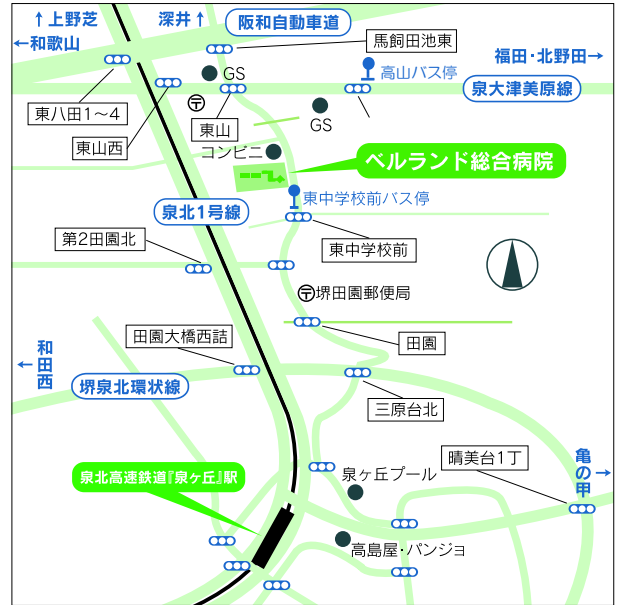
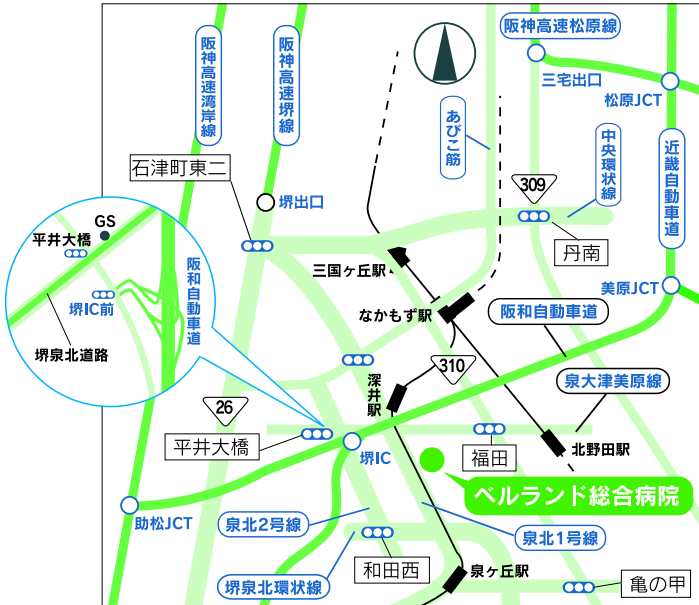
▼大阪方面から：泉北1号線深井駅北より側道へ入る。2個めの信号（東山西）を左折、つぎの東山交差点を右折して直進。

▼南大阪方面から：泉北1号線泉ヶ丘駅付近をすぎて、堺泉北環状線方面の側道に入る。

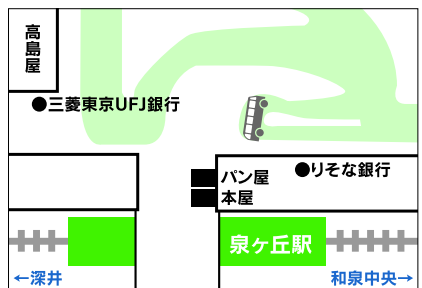
田園大橋西詰交差点から側道の2個めの信号を右折、突き当りの交差点を左折して直進。

▼阪和自動車道から：堺IC堺出口を右折。平井大橋交差点を右折して約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。

▼阪神高速湾岸線から：助松JCTより堺泉北有料道路へ入る。平井（深井方面）出口から約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。



■泉ヶ丘駅 送迎バス乗り場

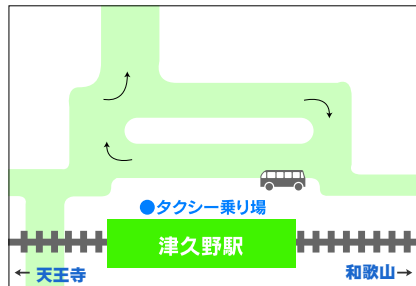


【泉ヶ丘駅発→ベルランド総合病院行き】
7:30～13:45まで毎時00・15・30・45分発
14:00～19:30まで毎時00・30分発

【ベルランド総合病院発→泉ヶ丘駅行き】
7:20～13:50まで毎時05・20・35・50分発
14:20～19:20まで毎時20・50分発

※南海バス（東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約2本出発

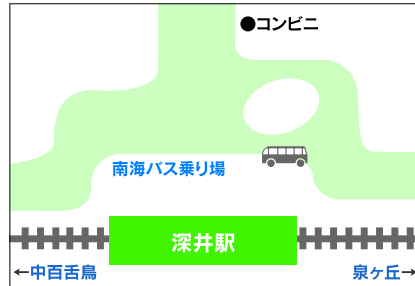
■津久野駅 送迎バス乗り場



【津久野駅発 ベルランド総合病院行き】
10:20・13:20・15:20

【ベルランド総合病院発→津久野駅行き】
10:00・13:00・15:00

■深井駅 送迎バス乗り場

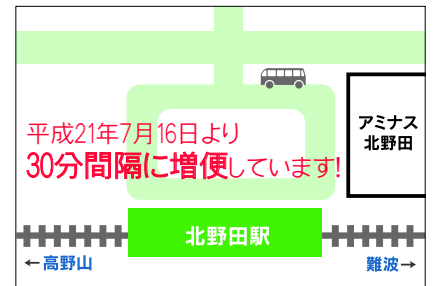


【深井駅発→ベルランド総合病院行き】
10:35・13:35・15:35

【ベルランド総合病院発→深井駅行き】
10:00・13:00・15:00

※南海バス（泉ヶ丘駅・あみだ池行き）バスは1時間あたり約4本出発

■北野田駅 送迎バス乗り場



【北野田駅発→ベルランド総合病院行き】
8:45～17:15まで毎時15・45分発

【ベルランド総合病院発→北野田駅行き】
8:30～17:00まで毎時00・30分発

※南海バス（西区役所前・東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約3本出発

Bell Letter

地域医療連携室では、以下の業務を行っています。

- ①診察・検査の予約
- ②入院の受け入れ
- ③診療情報提供書の返信チェック
- ④当院からの逆紹介
- ⑤共同診療の運営・管理

①②に関しましては、医師への確認・院内調整を行い、
予約票（来院日時）を作成しFAXにてご報告いたします。

その他、ご依頼等がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

地域医療連携室業務時間

月～金曜日（午前9時～午後8時）
土曜日（午前9時～午後5時）

医療機関様専用

TEL：0120-13-9215（直通）

FAX：0120-53-0096（直通）

一般の方は、代表番号(072-234-2001)におかけ下さい。